

置き方だけで、機能のみならず美しい空間や風景を積極的につくっていきけるような家具を考えたいと思います。それによって、デザイン都市・神戸にふさわしい創造性や交流を促進する魅力的な場所がつかれるのではないかと考えました。さらに、椅子や机という人の手が触れるものをつくるということから、神戸の街や山に生えている木々の樹種に注目し、家具と結びつけたいと思います。それによって、神戸の魅力を感じるきっかけをつくれるのではないかと考えました。



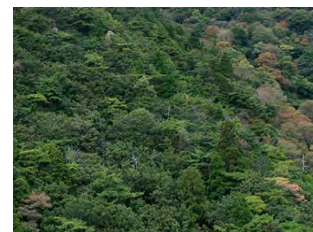
○ 水面の葉

水面にゆらゆらと漂う木の葉の集まりのようにフラットでありながら不均質で流動的な空間を考えたいと思います。それによって、シンプルで広々としていながら、画一的ではない空間や風景や機能をつくれるのではないかと考えました。



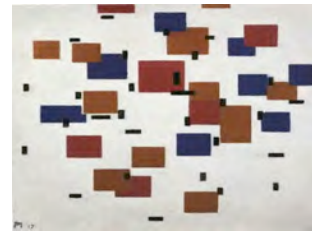
○ 公園や茶屋のベンチ

公園や峠の茶屋にある屋外のベンチで、お茶を飲んだりサンドイッチやおにぎりを食べる時のようなリラックスできる場所を考えたいと思います。それによって、居心地が良く、肩の力が抜け、より創造性や交流を促進できる場所がつかれるのではないかと考えました。



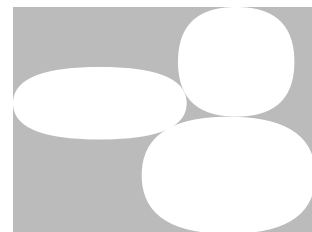
○ 雑木林

神戸の街や山に生えている高木の中から、複数の樹種を選び、素材に利用することを考えたいと思います。それによって、神戸の魅力を知るきっかけや家具への愛着、さらには、雑木林や印象派の絵のような不揃いな統一感をつくれるのではないかと考えました。



○ 異なるサイズとプロポーション

単体で完結する家具ではなく、少しずつ異なる複数のものの組み合わせにより機能や空間が生まれる家具を考えたいと思います。それにより、レイアウト変更にも柔軟に対応しながら、多様な風景や場所をつくれるのではないかと考えました。



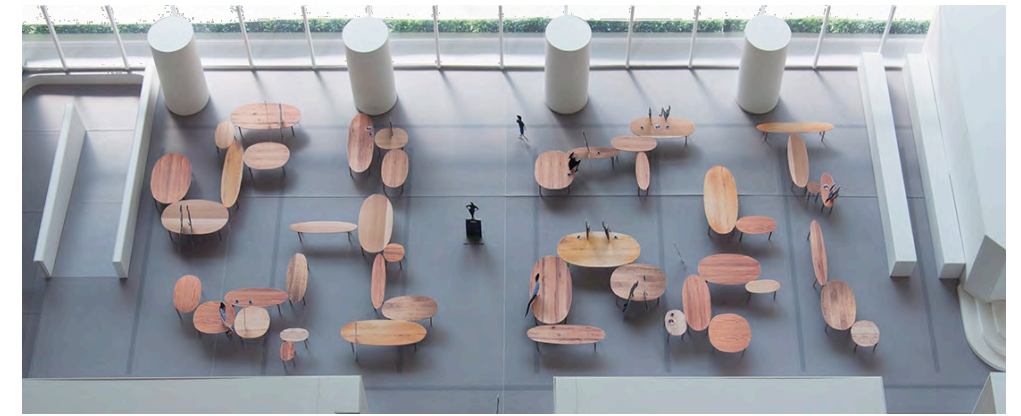
○ 角の無い形

長方形と楕円形の間ぐらいの角が無い形を考えたいと思います。それによって、ある程度秩序を保ちながらも様々な置き方ができ、くっつけても、点で接するため、適度な隙間が生まれ、画一的ではない様々な心地よい居場所が生まれるのではないかと考えました。



○ フラットな面

茶屋のベンチのような椅子と机の機能を兼ねるフラットな板状のものが並んでいるような空間を考えたいと思います。それによって、使い方や方向を限定せず、使う人が能動的に使い方を考えられるような創造的な場所がつかれるのではないかと考えました。



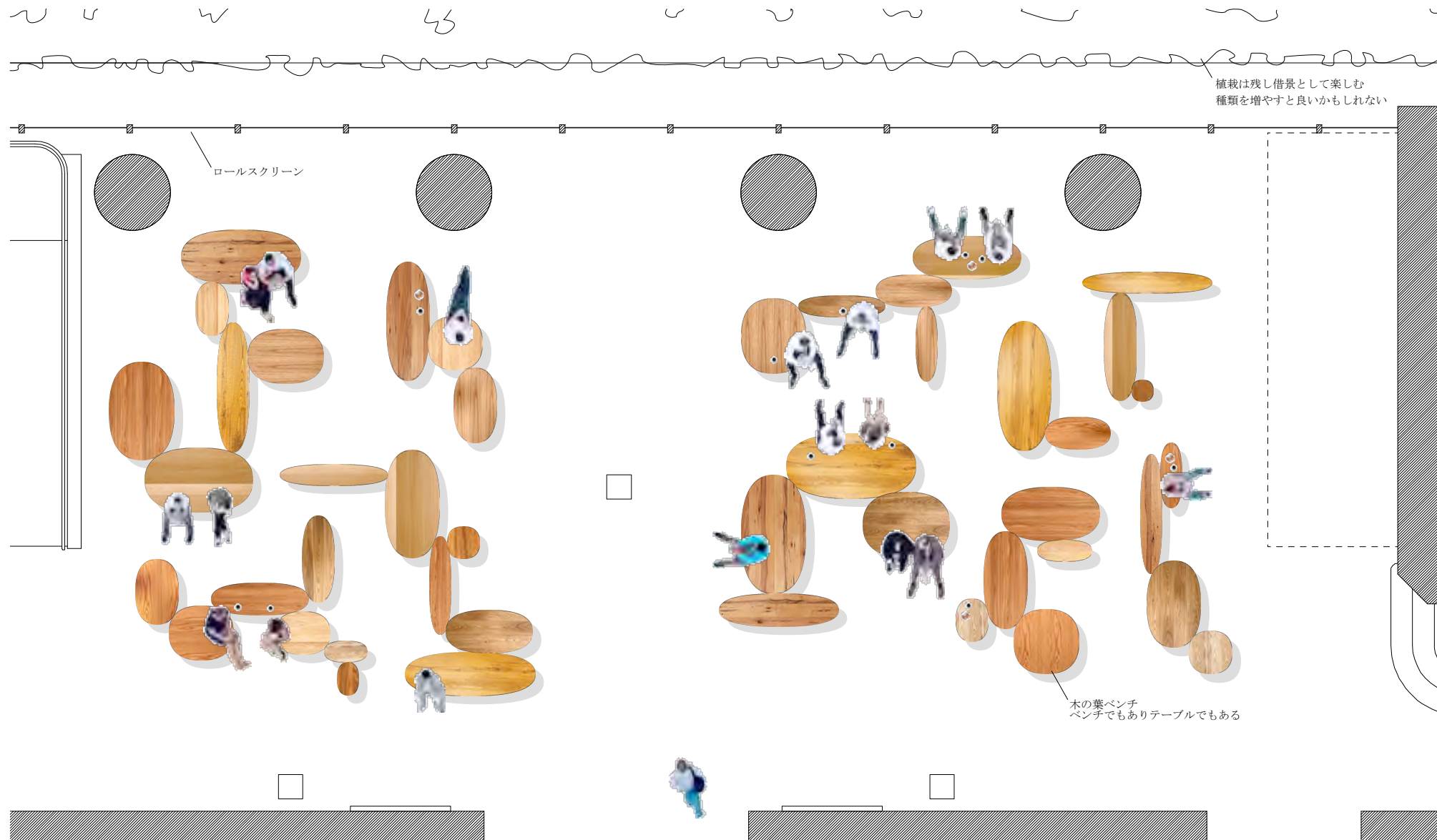
一つ一つ異なるベンチの集合により、木の葉が水面に漂うような動きや複雑さのある風景が生まれる



ベンチの配置によって様々な隙間をつくることができ、多様な佇まい方や交流が生まれる公園のような場所が生まれる



全体としてはフラットで遮蔽物のないシンプルで広々とした印象が生まれる



木の葉ベンチ  
ベンチでもありテーブルでもある